



協会報

2023

発行日 毎月1日 通算発行 452号

12



今月のトピックス

令和5年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催
令和5年度市町要望活動の実施

最近の完成工事から

一般国道415号羽咋バイパスⅡ期区間の開通
石川県土木部道路建設課



《石川の工芸シリーズ⑥》

石川県立美術館蔵

いろえはつきんさいかざりばち のどか
色絵白金彩飾鉢 長閑

たけこし としあき
武腰 敏昭【昭和15(1940)年—令和3(2021)年】

制作年／平成9(1997)年 サイズ／口径53.3×底径19.8×高さ10.9cm 技法／色絵
鉢の両端を白金彩で彩り、見込み（内側）には青を基調とした釉薬で上から跳めた鳥が描かれている。呉須で陰影をつけた後に、薄く釉薬を塗り、それがまだ乾かないうちに濃い釉薬をたらしてにじみやぼかしの効果を出す“たらし込み技法”を用いて施釉しているので、立体的な表現となっている。人と環境に優しい無鉛釉薬を用い、透明感やうまいのある独特の色彩に新しい九谷焼の息吹を感じる作品である。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 2023 12



《石川の工芸シリーズ66》
いろははつきんさいかざりばち のどか
色絵白金彩飾鉢 長閑
武腰 敏昭(たけごし としあき)

1	今月のトピックス	1
	令和5年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催	1
	令和5年度市町要望活動の実施	2
2	最近の完成工事から	4
	一般国道415号羽咋バイパスⅡ期区間の開通	
	石川県土木部道路建設課	
3	令和5年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰等の紹介	6
4	地区協会コーナー	8
	～担い手確保の一環として「建設業へようこそ！」を開催～ 小松工業高校建設科1年生と体験学習会や意見交換会を実施 (一社)小松能美建設業協会	
5	今月の「輝き！」さん No.105	9
	株式会社高田組 高 瑞樹さん	
6	協会だより	10
	「いしかわインフラ・フォトクリップ」～建設フォトコンテスト～ 入賞作品の紹介	10
	いしかわイメージアップ看板検討プロジェクト委員会	
	イメージアップ看板デザインコンテストの開催	12
	土地改良委員会	
	「令和5年度現場研修会」の開催	14
	「家畜伝染病防疫訓練(防護服着脱)」の見学	14
	担い手確保・育成等特別委員会	
	「建設業の人材確保セミナー」の開催	15
	安全・環境対策特別委員会	
	特別セミナー(加賀地区)の開催	16
7	石川県土木施工管理技士会だより	17
	JCMセミナーの開催	17
8	県内建設企業の財務内容の特徴 ～『建設業の財務統計指標 令和4年度決算分析』より～	18
	東日本建設業保証(株) 石川支店	

- ホーム
- 協会案内
- お知らせ
- 講習会・研修会
- 協会報
- 指名競争入札参加
- お問い合わせ

未来を創り
ふる里を守る
建設産業

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

建設業労働災害防止協会
石川支部

ホームページをご覧ください

◆ 今月のトピックス ◆

令和5年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催

要請日時 令和5年10月31日(火) 14:30～17:00

開催場所 ホテル日航金沢

概要

令和5年度北陸地区建設業協会地域懇談会が、国土交通省、(一社)全国建設業協会、石川・新潟・富山の各県及び長野県(オブザーバー)の建設業協会役員71名が出席して開催されました。

開催県の(一社)石川県建設業協会 平櫻 保会長が「5月の連休中に発生した奥能登地震の際、迅速にTEC-FORCEを派遣いただき感謝申し上げます。また、国土強靱化5か年加速化対策が進行する中、先の国会で国土強靱化基本法が改正されました。今後さらに中期的に事業計画が具体化されることを期待します。」と挨拶し、

国土交通省 楠田 幹人 大臣官房審議官(不動産・建設経済)

国土交通省 森下 博之 大臣官房参事官(イノベーション)

国土交通省 遠藤 仁彦 北陸地方整備局長

(一社)全国建設業協会 奥村太加典 会長

の各氏が挨拶されました。

引き続き、(一社)全国建設業協会 山崎篤男専務理事の司会で、地域懇談会テーマについて意見交換が行われました。テーマ及び当協会からの発言者は以下のとおりです。

【地域懇談会テーマ】

1. 公共事業の推進とその円滑な施工
(平櫻 保会長発言)
2. 改正労働基準法と働き方改革、生産性の向上
(小中出佳津良副会長発言)
3. 賃上げとCCUS、外国人労働者
(鶴山庄市副会長発言)
4. 「地域の守り手」としての地域建設業とその広報、その他
(中市勝也副会長発言)

その後、(一社)石川県建設業協会 山岸 勇専務理事の司会で、北陸地区建設業協会からの提案議題について、各県からの説明の後、国土交通省との意見交換を行いました。

【北陸地区建設業協会からの提案議題】

1. 石川県協会
 - ①公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
 - ②担い手の確保に向けた環境整備
2. 新潟県協会
 - ①地域建設業の継続した賃金アップの実現に向けて
 - ②改正労務単価の適用時期について
3. 富山県協会
 - ①経営基盤の強化のための取り組みについて
 - ②担い手の確保・育成に向けた働き方改革などの推進について



令和5年度市町要望活動の実施

県協会は、地区協会と合同で県内の市長、町長へ要望活動を行いました。今年度は11月20日・21日に能登地区、11月27日・30日に加賀地区、11月28日にかほく地区、12月5日に金沢と延べ6日間にわたり、県内の18市町を訪問し、業界の実情を訴えるとともに、直面する課題などについて意見交換を行いました。

県協会から平櫻 保会長と山岸 勇専務理事、各地区協会からは会長、副会長、理事の方々が参加し、市町の首長または副市長、副町長及び関係部課長に要望書を提出いたしました。

要望の主な内容は、

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
2. 地元建設業者の受注機会の確保
3. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
4. 働き方改革と生産性向上
5. 持続可能な除雪体制の確保

の5項目。

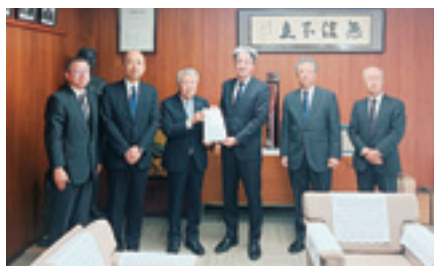
平櫻会長が、日頃の建設業界に対するご理解への感謝とともに、「公共事業予算の安定的な確保に向けて、『防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策』の計画的な実施に加え、対策後も継続して取り組みが進むよう国への働きかけをお願いしたい。また、来年の4月から時間外労働の罰則付き上限規制の適用に向け、協会でも働き方改革、生産性の向上に取り組んでおりますが、若者の入職・定着の促進には、休暇がとれる労働環境が不可欠であります。発注者指定型の週休2日工事の拡大や書類の簡素化・電子化、工事の発注時期の平準化にもぜひともご理解をいただきたい。」と挨拶しました。協会側の要望に対して、各首長からは、「防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策」について、計画に基づき着実に進めていること、今後も住民の安全・安心を守るためにも、県内各市町の首長が連携して、必要な予算額を確保できるよう国土交通省や財務省、石川県選出の国会議員等、様々な方面へ強く要望をされている旨の発言をいただきました。

また、来年4月から適用される時間外労働の上限規制に関連し、働き方改革・生産性向上に向けた環境整備について、どの市町でも週休2日工事の拡大、書類の電子化、情報共有システムの本格的な運用開始など、DXの推進にも大変力を入れていること、既に書類の簡素化や電子化はもちろんのこと、公共工事の発注・施工時期の平準化や発注者指定型の週休2日工事の拡大や、それに伴う適切な工期設定に前向きに取り組んでいく旨の発言がありました。特に発注者指定型の週休2日工事については、令和6年度から県内どの市町でも緊急性のあるものを除き、原則すべての工事を対象とする旨の回答もいただきました。更にDXの推進については、官民が一体となり協力して進めていくことが重要であり、建設業界が積極的にDXに取り組み大きく変化してきていることをアピールしていただきたいと思います。協会としてもDXのさらなる推進に向けて継続して取り組んでいく旨を回答いたしました。

持続可能な除雪体制の確保について、特に能登地区ではオペレーターの資格取得が年々大きな課題となっており、とりわけ、大型免許の取得では、能登地方に教習所がなく遠方で教習を受けなければならないことが大きなネックになっていることから、引き続き改善に向けた取り組みを要望いたしました。

最後に、地域住民の安全・安心を確保していくためにも、行政と建設業界とが、「公共事業の推進と予算の安定的な確保」、「適正な入札・契約制度の実施」、「働き方改革・生産性向上」など様々な課題解決に向けて、官民一体となって進めていこうとの発言をいただきました。

改めて「地域の守り手」としての使命・役割を再認識するとともに、協会としてさらなる石川の発展に貢献すべく、インフラの整備・維持管理、担い手確保・育成の取り組み等を進めてまいりたいと思います。



吉村穴水町長



泉谷珠洲市長



大森能登町長



中山輪島市副市長



茶谷七尾市長



宮下中能登町長



川口羽咋市副市長



寶達宝達志水町長



粟野々市市長



田西川北町副町長



宮橋小松市長



井出能美市長



宮元加賀市長



矢田津幡町長



川口内灘町長



油野かほく市長



田村白山市長



村山金沢市長

最近の完成工事から

一般国道415号羽咋バイパスⅡ期区間の開通

石川県土木部道路建設課

1 事業の目的と経緯

一般国道415号は、石川県羽咋市と富山県氷見市を結ぶ県際道路として、両地域間の経済、観光、文化など様々な交流を支えるとともに、災害時の緊急輸送道路にも指定されている重要な幹線道路です。

このため、県際道路としての機能をより発揮させるとともに、羽咋市街地における渋滞を解消すべく、羽咋市兵庫町から神子原町に至る7.4kmの区間について、平成8年度から羽咋バイパスとして事業に着手し、これまでに羽咋市兵庫町から宝達志水町杉野屋間のⅠ期区間3.7kmを供用しました。

今回、残る宝達志水町杉野屋から羽咋市神子原町間のⅡ期区間3.7kmが令和5年10月28日に開通しました。



図-1 事業周辺図

2 事業概要（Ⅱ期区間）

路線名：一般国道415号

区間：宝達志水町杉野屋～羽咋市神子原町 地内

道路規格：第3種3級

設計速度50km/h

延長：L=3.7km

幅員：W=6.0(8.5)m（一般部）

W=6.0(7.5)m（トンネル部）

事業期間：平成22年度～令和5年度

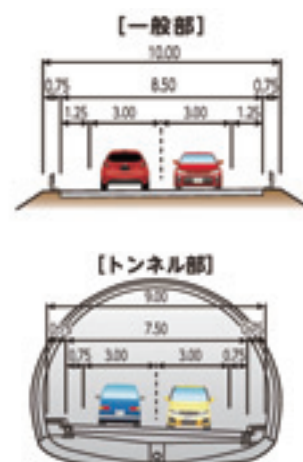


図-2 標準断面図

3 事業の効果

本区間の開通により、山間部を横断して、最短距離で結ぶ羽咋トンネルも完成し、地域の安全で円滑な交通が確保されるほか、のと里山海道や能越自動車道へのアクセスも向上し、地元羽咋市や宝達志水町をはじめ、中能登地域全体の発展に大いに寄与すると考えています。

4 開通記念イベントの実施

供用開始に先立ち、令和5年10月15日に開通記念イベントとして「道づくりフェス」を開催しました。イベントでは、地元の邑知小学生による鼓笛隊や邑知中学生による和太鼓演奏、地元町会による獅子舞が披露されたほか、クイズラリーや建設機械の展示・乗車体験なども行い、地域の方々と一緒に道路の開通を祝うとともに建設業の魅力発信に取り組みました。



写真－1 邑知小学生による鼓笛隊



写真－2 建設機械の乗車体験をする参加者

5 おわりに

令和5年10月28日に、馳知事をはじめ多数の方々の出席のもと、開通式や開通パレードが盛大に執り行われました。

今回の開通により、石川と富山の広域交流が促進され、双方の地域が活性化されることを期待するとともに、大切な用地を提供いただいた地権者の方々をはじめ、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました皆様に、心から感謝を申し上げます。



写真－3 神子原町から杉野屋方面を望む



写真－4 開通パレード

令和5年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰等の紹介

令和5年度国土と交通等に関する知事表彰式が、11月15日(水)石川県庁において行われ、建設関係者から多くの個人・団体・企業が表彰されました。(一社)石川県建設業協会関係の優良建設功労者及び優良建設工事並びに優良建設工事に係る優良建設技術者(各総合事務所長等表彰)をここに紹介しその功労に敬意を表します。

【優良建設功労者】



向出剛一氏
株式会社向出組
取締役



山田外志雄氏
宏州建設株式会社
代表取締役社長

【優良建設工事】

【土木部発注分(会社名及び工事名)】

姥浦建設株式会社

三室3号 急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)

三和建設株式会社

一般県道高屋出田線 地方道改築工事(広栗橋P1橋脚工)

株式会社麴香重機建設

一般県道 黒川横山線 地方道改築工事(宇ノ気川橋梁A1橋台工)

辰巳建設株式会社

新石川県立図書館整備工事(外構・造成工その3)

株式会社宮地組

二級河川河原田川 広域河川改修工事(護岸1工区)

株式会社明翫組

二級河川 安原川 広域河川改修工事(荒川水門取付護岸工)

本建設工業株式会社

主要地方道 小松辰口線 地方道改築(防災・安全)工事(梯川橋梁A2橋台工)

山崎・慶伊特定建設工事共同企業体

一般国道157号 橋りょう補修(防災・安全)工事(女原大橋)(P4耐震補強工)

和田内潜建株式会社

一般県道 百海七尾線 地方道改築工事(城山橋A1橋台工)

丸西・道場特定建設工事共同企業体

木場潟公園東園地里山交流ハウス(仮称)建設工事(建築)

株式会社金沢舗道

主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事（舗装7工区）

【農林水産部発注分（会社名及び工事名）】**株式会社江口組**

令和3年度 防災林造成事業 安宅地区 海岸工事その2

小倉建設株式会社

令和4年度 老朽ため池整備事業（防災対策型） 神子原ダム地区 底樋補修工事

株式会社表組

令和3年度 農業用河川工作物応急対策事業 七窪地区 樋門工事

昭和建設株式会社

令和3年度 県営震災対策農業施設整備事業 沖波地区 堤体工事

竹腰永井建設株式会社

令和3年度 県営林道開設事業 白木峠線2工区 開設工事

【優良建設技術者】**（土木部）**

南加賀土木総合事務所長表彰

和田翔二（本建設工業株式会社）

石川土木総合事務所長表彰

山本 靖（山崎・慶伊特定建設工事共同企業体）

県央土木総合事務所長表彰

白江勝美（株式会社麝香重機建設）

中能登土木総合事務所長表彰

鈴木浩介（株式会社金沢舗道）

高木裕進（姥浦建設株式会社）

松江重好（和田内潜建株式会社）

奥能登土木総合事務所長表彰

坂角善行（株式会社宮地組）

山下博暢（三和建设株式会社）

安原高橋川管理事務所長表彰

南 龍太（株式会社明翫組）

宮 繕 課 長 表 彰

蘆邊 亮（丸西・道場特定建設工事共同企業体）

（農林水産部）

南加賀農林総合事務所長表彰

松田秀樹（株式会社江口組）

石川農林総合事務所長表彰

山下みずえ（竹腰永井建設株式会社）

県央農林総合事務所長表彰

澤本敏通（株式会社表組）

中能登農林総合事務所長表彰

山田 誠（小倉建設株式会社）

奥能登農林総合事務所長表彰

田屋弘志（昭和建設株式会社）



優良建設工事知事表彰受賞者の皆さん

地区協会コーナー

～担い手確保の一環として「建設業へようこそ!」を開催～
小松工業高校建設科1年生と体験学習会や意見交換会を実施

(一社)小松能美建設業協会

7月12日(水)、小松工業高校において「建設業へようこそ!」を開催しました。

高校生に建設業の魅力を伝えと共に、その疑問に答えるため、平成26年度から若手経営者や技術者と建設科1年の生徒との意見交換会などを行っております。

当協会の若手経営者で構成する「建青会」の20名がスタッフで参加し、一松建設(株)一松幸司社長、加越建設(株)清水有一朗取締役が、建設業の役割や魅力、土木・建築の違いなど分かりやすく解説し、その後、入職した先輩との意見交換会や4つの現場体験学習を行いました。



建設科1年生とスタッフ



入職した先輩との意見交換会

「建設業へようこそ!」は、建設分野の道を歩み始めた同校の1年生が、建設業に対する理解や関心を高めると共に、多くの生徒が建設業に携わる気概を感じられる機会となっております。

VR(仮想現実)体験では、生徒が仮想空間で橋梁工事現場の臨場感を味わい、作業工程体験では、ミニドローンの基本的な操縦方法や災害時の空撮・測量が可能な機器等について学びました。

カンナ削り体験では、スタッフの指導を受けながら木の材質の違いを実感し、トラポットの消波効果体験では、模型を用いた検証を行いました。



VR体験



建設現場の作業工程体験



カンナ削り体験



模型による消波効果体験

当協会では、ものづくりの喜びや達成感が味わえ、建設業の魅力等が伝えられる体験学習の場を通じて、より多くの生徒達が将来的に建設業に携わる機会としていただけるよう、今後も工夫を凝らして企画・開催してまいります。

今月の「輝き！」さん

No. 105



株式会社高田組 たかみず 高 瑞樹さん

所 属：工務部
経験年数：6年8カ月
年 齢：25歳

金沢市大河端町の現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーあなたの会社について教えてください。

当社は、高田産業グループ5社の一つで、土木・建築工事の設計・施工等を行う会社（昭和34年設立）です。私は工務部に所属し、今、大河端の橋台工事現場で現場代理人として頑張っています。当社は、みな仲良く明るい雰囲気、ICT技術導入による作業時間の短縮、建設ディレクターの導入等、働き方改革も進んでいます。

ー建設業を選んだ理由、入社の動機等について教えてください。

工業高校に進学して土木科で学ぼうちに建設業に強く興味を持ち、「自分でやってみたい」と思い、学校の求人票等を通じて高田組に魅力を感じ入社しました。

ーこれまでで思い出に残る現場、苦労した現場はありますか？

印象に残っているのは、去年10月の「金沢市堀川町の無電柱化推進工事」です。

初めての現場代理人で、決められた時間内に舗装復旧まで行わなければならない、通行車両や歩行者の安全に配慮しながらの作業が大変でした。

ー仕事の苦労や、やりがいを感じる時、心がけていることはありますか？

現場は様々ですので、作業条件や工期に併せた施工計画で臨むことが大変ですが、完成した構造物を見たときの達成感ややりがいは最高です。現場では、下請けの業者さんとのコミュニケーションを大事に考え、積極的に話しかけるようにしています。

ー休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

身体を動かすのが好きなので、休日は、バイクでのツーリングやスポーツジムに行ってトレーニングをしたり、野球チームでの試合や冬場にスノーボードも楽しんでいます。

ー将来の夢、目標は？

直近の目標は、来年の1級土木施工管理技士試験の合格で、将来は、発注者や会社・下請け業者さんに信頼してもらえる現場監督になることが目標です。

ー最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

いわゆる3Kのイメージが強いと思いますが、実際は、ICT等効率的な作業技術が進み、休日も多く、安心して働ける環境が整っていると感じています。仕事の内容も建設ディレクター等様々あり、工業系・普通科系の出身別も問わずに働ける職場だと思いますので、是非チャレンジしてください！



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」

毎月第4火曜日 18:00~18:05

今月放送

12月26日(火)

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協 会 だ よ り

「いしかわインフラ・フォトクリップ」
～建設フォトコンテスト～

入賞作品の紹介

石川県土木部と(一社)石川県建設業協会では、建設業に携わる人たちの様子、作り出されたインフラが生活の中で生かされる様子を写した写真を通じて、多くの人に建設業の大切さや魅力を伝え、建設業に興味を持ってもらえるよう、建設フォトコンテスト「いしかわインフラ・フォトクリップ」を開催しました。

10月23日(月)、写真家の山崎エリナ氏を審査員に迎え慎重な選考審査の結果、応募総数148点の中から最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞が選ばれました。

11月22日(水)、県庁19階展望ロビーにおいて表彰式が行われ、鈴見裕司土木部長、平櫻 保県協会長から、入賞者に賞状と副賞が手渡されました。なお、入賞作品他60点は、11月18日(土)から11月26日(日)まで「県庁19階展望ロビー」で、12月16日(土)から12月24日(日)まで「のと里山空港」、1月5日(金)から1月15日(月)まで「石川県立図書館」にて展示されます。



最 優 秀 賞

小山 勇治

「孤独な海の中で」

優 秀 賞

2点

辻森 久美

「ちびっこパトロール参上!!」

千場 勇輝

「安全を守る!除雪ヒーローズ」

入 賞

2点

北村久美子

「お疲れ様」

西村帆乃花

「カッコイイでしょ」

審査員特別賞

4点

中山 和彦

「道路の明かりと安全」

千場 汐莉

「完成までのワンシーン」

東 拓也

「明日に向かって」

倉部 健

「俺にまかせろ。」

審査員 山崎エリナ氏 コメント

第1回と引き続き第2回の作品も撮影者の思いが溢れていました。

今回は特に撮影した時の被写体(風景や人)への思いをコメントやタイトルにも反映されていて、思いが良く伝わってきました。

海、橋梁、水中作業、子供たち、愛犬、作業する人への眼差し、美しい橋梁、散歩道、美しい風景など題材も広がり、石川県愛に溢れていました。

応募された皆様のお写真から石川県の新たな魅力を発見させていただきました。

とにかく今回も力作の数々、本当に審査に悩みに悩みました。

「思い溢れる」力作を来年も楽しみにしております。

最優秀賞



小山勇治「孤独な海の中で」

優秀賞



辻森久美「ちびっこパトロール参上!!」



千場勇輝「安全を守る!除雪ヒーローズ」

入 賞



北村久美子「お疲れ様」



西村帆乃花「カッコイイでしょ」

審査員特別賞



中山和彦
「道路の明かりと安全」



千場汐莉
「完成までのワンシーン」



東 拓也
「明日に向かって」



倉部 健
「俺にまかせろ。」

いしかわイメージアップ看板検討プロジェクト委員会

◎イメージアップ看板デザインコンテストの開催

県建設業協会は、「“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業」をスローガンに安心・安全な地域づくりに取り組む使命感を胸に、もっともっと素敵に輝ける石川県を創造したいと考えております。

今般、その取り組みの一環として、県内の建設現場（石川県土木部発注工事）に「未来への扉 石川をつくる」をテーマとしたデザイン看板を設置して建設現場のイメージアップをはかることとし、「イメージアップ看板デザインコンテスト」を開催します。



応募資格は「石川県内在住もしくは通学・通勤されている方」で、締め切りを令和6年2月20日としています。最優秀作品1点は県内工事現場に掲示する予定としています。

多くの方々に関心を持っていただけるよう、11月16日（木）記者発表を行いました。山田外志雄プロジェクト委員長が応募要領等を説明し、平櫻 保会長が「都市景観を損ねることなくカバーし、建設業のイメージアップが図れる看板のデザイン作品を広く募集します。たくさんの応募をお待ちしております。」と呼びかけました。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



イメージアップ看板デザインコンテスト 未来への扉「石川をつくる」

看板デザイン作品募集



趣旨

私たち石川県建設業協会は、「未来」を創り、「ふる里」を守る建設産業」をスローガンとし安心安全なまちづくりに取り組む使命感を胸に、もっともと素敵で輝ける地域を創造したいと思っています。暮らす人みんなが自分のまちを好きになり、暮らすことに誇りを持てる、そんな地域をともにつくりたい。私たち建設のチカラが、地域の未来をつくると信じています。

さて、皆さんにとって、建設現場に対するイメージはいかがでしょうか。今の建設現場は少し無機質なイメージがあるかもしれません。そんな建設現場にイメージアップ看板を掲示することで、美しく彩ってみませんか。

石川県内の建設現場に設置するその想いの象徴となるイメージアップ看板のデザインを公募します。

テーマ

- カッコイイ建設
- まちをつくっている人
- 石川の未来
- 大好きなふる里石川 など

応募資格

石川県内在住もしくは通学・通勤されている方

応募期間

令和5年11月20日(月)～令和6年2月20日(火)

応募形式

作品提出の際は、必ず応募用紙と合わせてご応募ください

手書き作品の場合

- ハツ切り画用紙またはA3のケン
ト紙を横長に使用してください
※用紙は各自でご用意ください
- 用紙内に作品が収まるように描い
てください
(鉛筆などでアタリを描いた場合
は、完成後消してください)
- 画材は自由

作品の裏面に応募用紙に貼り付け
てお送りください

デジタル作品の場合

- 応募データは画像データのみとし
ます
- ファイルサイズは
W5787×H4093Pixel、
解像度は300dpi以上、10MB以
内の横長で制作してください
- ファイル形式はJPEGデータ

作品と応募用紙をメールにてお送り
ください

応募規定

- 応募は1人1点に限りです。
- 応募作品はオリジナルの未発表作品に限りです。
- 著作権、商標権、肖像権等で第三者の権利を侵害することのない
よう十分に配慮してください。
- 入賞作品は、看板掲示にあたって補作する場合があります。
- 応募作品の著作権は(一社)石川県建設業協会に帰属。その他の
詳細は主催者ホームページ等をご確認ください。
- 応募作品の返却はいたしません。
- 生成AIによる成果物を応募することは禁止いたします。

応募方法

石川県建設業協会のホームページ(<http://www.ishikenkyo.or.jp>)
より、応募用紙をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、作品と
合わせて下記までお送りください。

○郵送の方は／(一社)石川県建設業協会

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号

○メールの方は／info@ishikenkyo.or.jp

賞

- | | | |
|----------|-----------|-------|
| 最優秀賞(1点) | 賞状+副賞10万円 | |
| 優秀賞(3点) | 賞状+副賞3万円 | |
| 特別賞(6点) | 賞状+副賞1万円 | 合計10点 |

優秀作品発表

令和6年3月下旬

受賞作品の掲示

最優秀作品は、石川県内の工事現場に掲示されます



- 主催／一般社団法人 石川県建設業協会
- 後援／石川県・石川県教育委員会

お問い合わせ先

(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号 Tel.076-242-1161
<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

土地改良委員会**◎「令和5年度現場研修会」の開催**

開催日時 令和5年10月30日(月) 13:00～16:30
開催場所 石川県地場産業振興センター本館
出席者 上野 晋技術検討部会長以下24名、事務局3名

概 要

上野部会長の挨拶に続き、河北潟周辺農地防災事業所の三田辰夫次長、清水建設株式会社北陸支店の久保晴雄氏、県央農林総合事務所土地改良部の小森裕生計画課長から講演をいただき、その後、河北潟放水路防潮水門建設工事及び内灘排水機場建設工事の2箇所の現場を視察しました。

(1) 室内研修（講演）

- ①国営農地防災事業河北潟周辺地区の事業概要
- ②河北潟放水路防潮水門建設工事の施工計画等
- ③県央農林管内の県営事業の概要（国営関連）

(2) 現場研修

- ①河北潟放水路防潮水門建設工事（清水建設株式会社北陸支店 久保晴雄氏）
- ②内灘排水機場建設工事（株式会社熊谷組北陸支店 若林宗人氏）



室内研修



河北潟放水路防潮水門建設工事



内灘排水機場建設工事

◎「家畜伝染病防疫訓練（防護服着脱）」の見学

開催日時 令和5年11月10日(金) 13:00～16:00
開催場所 石川県地場産業振興センター本館
参加者 会員9名、事務局2名

概 要

県内において家畜伝染病が発生した際に、迅速かつ的確に初動対応がとれることを目的に、石川県が(公社)石川県畜産協会と共催で開催した「家畜伝染病防疫訓練（防護服着脱）」を見学しました。本訓練は、県内養鶏場において高病原性鳥インフルエンザが発生した場合を想定し、防疫作業前の集合施設における作業、農場における防疫作業、防疫作業前の現地サポート基地における作業内容の確認など一連の作業が訓練者24名等により行われ、その状況を見学しました。



訓練会場風景



防護服の着脱訓練



デモンストレーション

担い手確保・育成等特別委員会**◎「建設業の人材確保セミナー」の開催**

開催日時 令和5年11月16日(木) 14:00～16:00
開催場所 金沢流通会館
参加者 県建設業協会会員企業・県建設産業連合会会員企業
の経営者、経営幹部、人事担当者、ハローワーク金沢、石川労働局 約40名

**概 要**

石川労働局と県協会が8月21日(月)に締結した「人材確保対策推進協定」に基づく第三弾の取り組みとして、企業側を対象とした「建設業の人材確保セミナー」を開催しました。求職者の方が就職するにあたって注目するポイントを捉え、魅力ある求人票の作成・充実を図ることで、一人でも多くの求職者に建設業への関心を持ってもらうことを目指し、労働市場や求職者の現状やニーズ等について講演をいただきました。今後も、企業を対象とした「くるみん」や「えるぼし」といった女性活躍・子育て支援の環境整備の拡大に向けた企業向け説明会を開催する予定です。

(1)「人材確保のための労働市場の見える化」

厚生労働省 職業安定局 雇用政策課 労働市場情報整備推進企画室
労働市場情報企画係長 山口 真司 氏

(2)「建設業にかかる求職者の現状、求職者ニーズについて」

ハローワーク金沢 職業相談第一部門
人材確保専門官 村本 好美 氏

(3)「よりよい人材確保、マッチングを目指して」

ハローワーク金沢 求人部門
統括職業指導官 宗広 勇 氏
需給調整指導官 手崎 健太 氏

令和5年 ～交通マナーアップいしかわ～

年末の交通安全県民運動

期 間 12月11日(月)～12月20日(水)

運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止（北陸三県統一重点）
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
- ◆ 冬道での安全走行の徹底



石川県・石川県交通安全推進協議会
お問い合わせ／石川県生活環境部生活安全課（電話 076-225-1387）

安全・環境対策特別委員会

◎特別セミナー（加賀地区）の開催

開催日時 令和5年11月29日(水) 13:30～15:30
 開催場所 小松能美建設業協会
 出席者 会員企業等30名、事務局3名
 講師 石川県労働局労働基準部健康安全課 山口伸哉地方産業安全専門官
 石川県警察本部生活安全部生活安全捜査課 宮下信彦警部
 石川県警察本部刑事部組織犯罪対策課 土田宏明警部補
 公益財団法人石川県暴力追放運動推進センター 岸田広明専務理事

概 要

石川県建設産業連合会との共催による特別セミナー（加賀地区）を開催しました。

石川県労働局山口専門官より「建設業の安全について」、石川県警宮下警部より「外国人不法就労者への対応等について」、土田警部補より「暴力団情勢について」、暴力追放運動推進センター岸田専務理事より「悪質クレマー・暴力団対策」と題し講演をいただきました。



開催状況



山口専門官



宮下警部



土田警部補

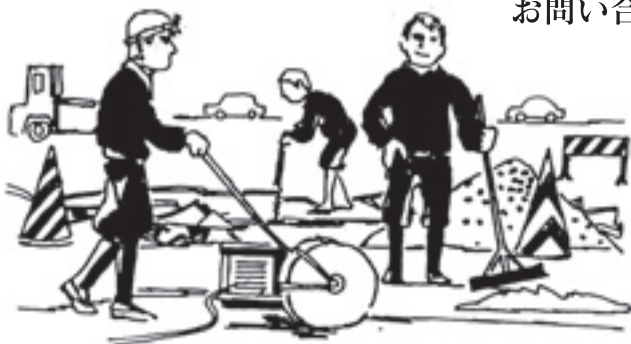


岸田専務理事

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
 損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナーの開催

開催日時 令和5年11月15日(水) 13:00~17:00

開催場所 (一社)七尾鹿島建設業協会、(一社)小松能美建設業協会

出席者 11名

概 要

JCMセミナー「覗いてみよう現場のDX」をオンライン形式で開催し、(一社)日本機械土木協会 玉石秀介委員長ほか技術委員会委員3名の講師が、機械土木工事に従事する専門工事業者から見えている現場のDX、施工業者を賛助する立場から見えているDX等について講義を行いました。



七尾会場



小松会場



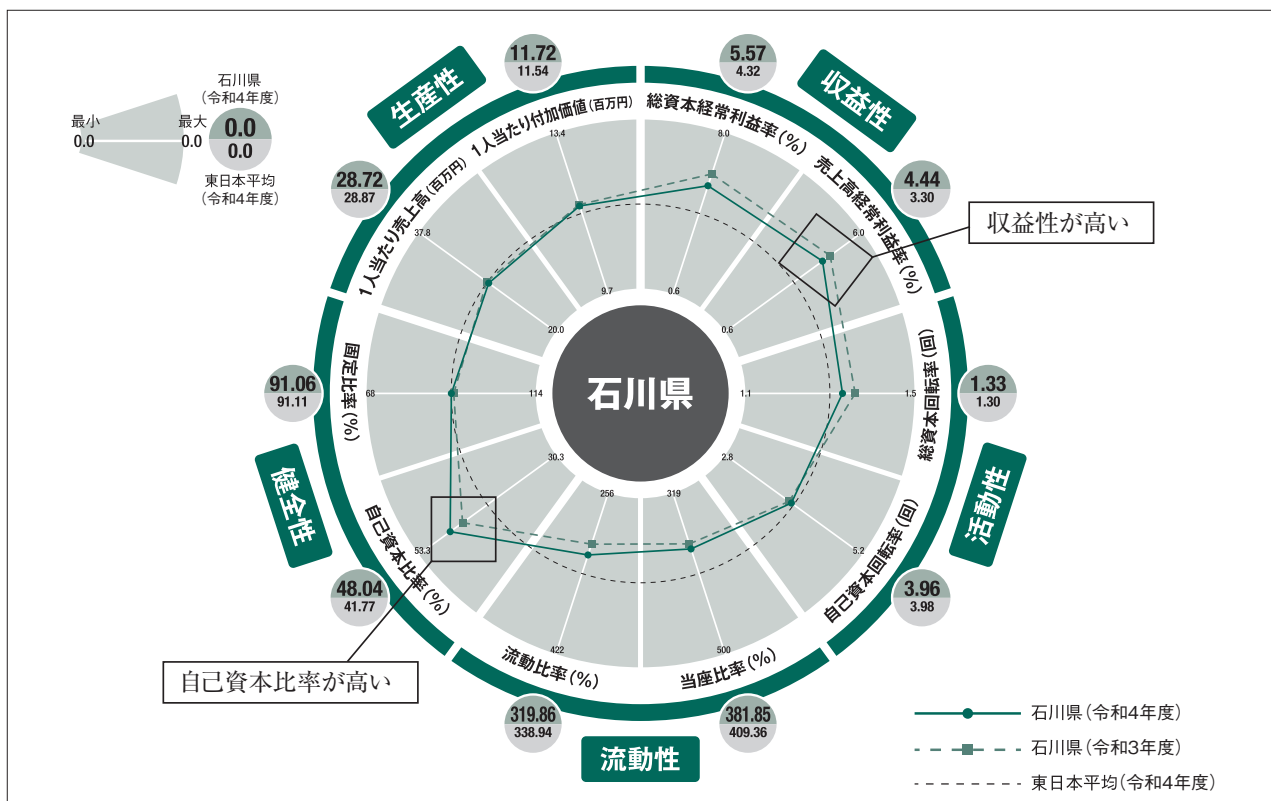
県内建設企業の財務内容の特徴

～『建設業の財務統計指標 令和4年度決算分析』より～

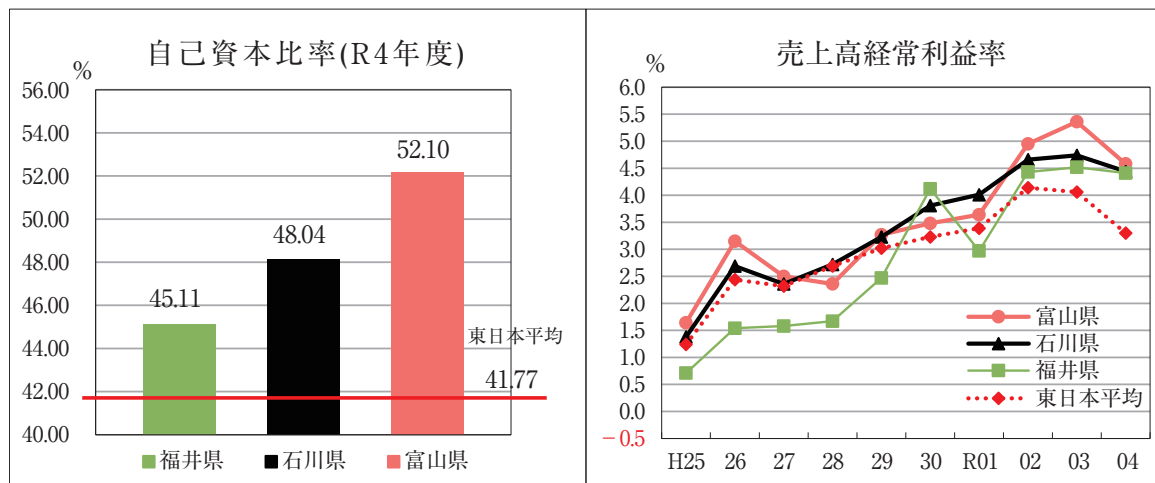
東日本建設業保証(株) 石川支店

【令和4年度の特徴】

- ・売上高に対して、どれだけの経常的な利益を上げたかを表し、企業の財務力を含めた収益力を総合的に表す「売上高経常利益率」は、東日本平均を上回り、4.44%となっています。
- ・総資本に対する自己資本の割合を表し、企業資本の調達源泉の健全性、資本蓄積の度合いを表す「自己資本比率」は、東日本平均を上回り、48.04%となっています。



(参考) 北陸三県の比較



出典：東日本建設業保証『建設業の財務統計指標』 <https://www.ejcs.co.jp/report/indicators/>

注)『建設業の財務統計指標』は、東日本建設業保証(株)へ提出された決算書により、売上高別、地区別・都県別に経営指標をまとめたものです。令和4年度の石川県内の集計企業数は683社です。